

リアルタイムに道路交通の状況を更新するダイナミックマップは、ビジネスや防災にも役立つことが期待できます。

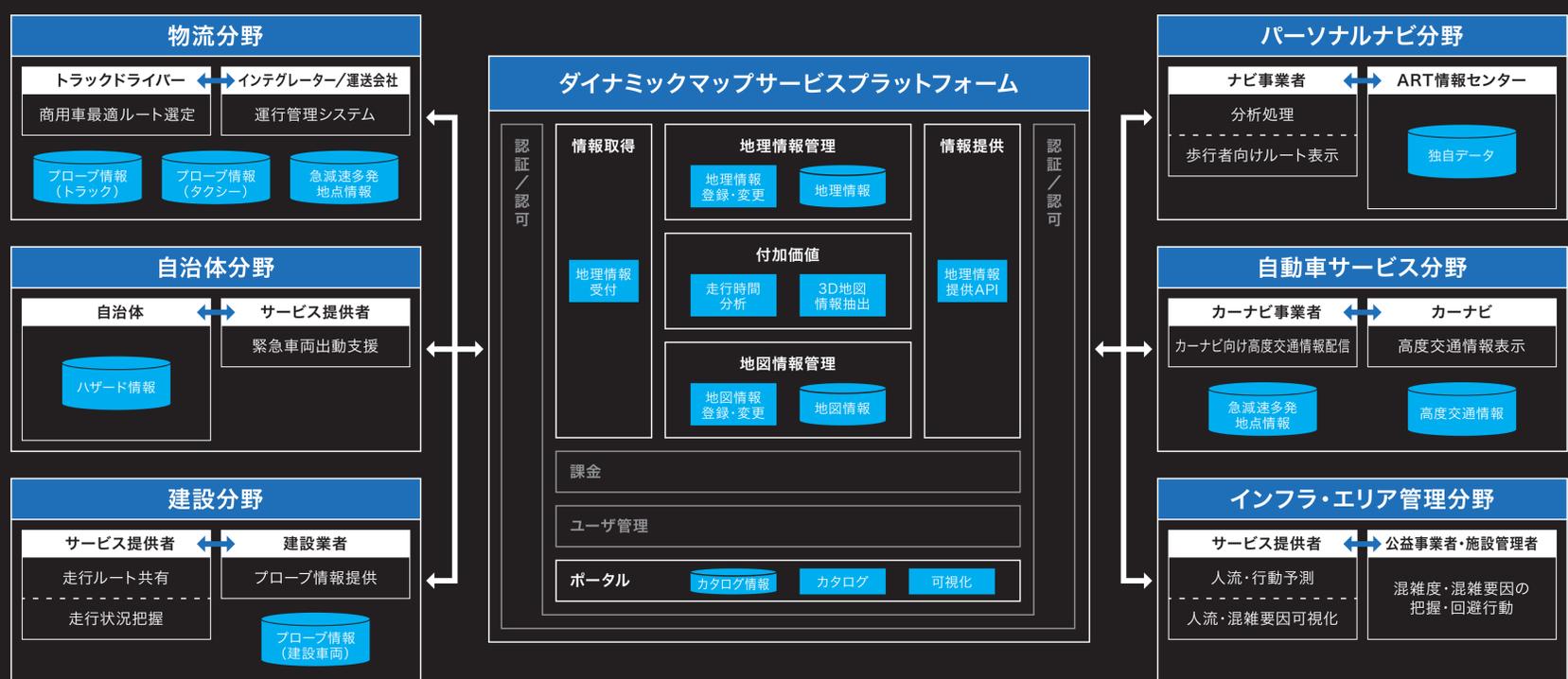
ダイナミックマップの多分野への活用

自動運転を実現するために不可欠な地図インフラであるダイナミックマップは、リアルタイムに道路や交通の状況を更新しています。この提供価値は、自動運転に留まらず、物流や建設等のビジネス分野や災害時の防災や被災地支援等、多分野への活用が期待されています。

ダイナミックマップサービスプラットフォームと6分野のサービスモデル



物流、自治体、建設、パーソナルナビ、自動車サービス、インフラ・エリア管理の6つのサービスモデルと、サービスプラットフォームを試作し、利用者と想定される事業者へのヒアリングを実施。サービスモデルの有効性とそれを通じたサービスプラットフォームの有効性を実証しました。



様々な分野での活用に向けた検討



活用場面別に、従来の手法に加え3次元地図共通基盤データ等をどのように活用することが可能かを検討しています。大雨等による冠水や地割れ、電線のたるみや断線等の情報掌握にも活用が期待できます。

| 分野 | 活用場面 | 3次元地図共通基盤データ等の活用イメージ |
|-----------------|----------------|--|
| 道路台帳 整備・更新 | 道路台帳整備(新規) | ●道路台帳が未整備な路線に対して、道路台帳の新規整備を行う際に活用する。 |
| | 道路台帳整備(更新) | ●道路の拡幅改良や区域の変更等により、道路台帳の更新が必要な区間に対し、更新に必要な地物等を抽出し、道路台帳附図を更新する際に活用する。 |
| 除雪支援 | 除雪操作に対する操作支援 | ●除雪車の位置に応じて、タブレット端末等に積雪前の道路状況(画像)を表示する際に活用する。 ●除雪車の位置に応じて、タブレット端末等で除雪時に注意すべき道路構造物の位置を警告する際に活用する。 |
| | 排雪に対する情報提供 | ●除雪車の位置に応じて、タブレット端末等で排雪禁止の場所の警告情報を提供する際に活用する。 |
| | 除雪車の走行に対する運転補助 | ●除雪車の自動走行を支援する際に活用する。 |
| 電柱/電線の日常点検・維持管理 | 通信事業者による維持管理業務 | ●支障移転業務において、通信台帳と組合せ、現場立会業務の要否を判定する際に活用する。 ●開通業務において、設備管理情報と組合せ、お客様宅・配線柱、引込柱の確認、ルート設計(基本設計)の際に活用する。 ●電柱敷地管理業務において、電柱の設置可能位置を確認する際に活用する。 ●工事立会業務において、通信台帳と組合せ、既存設備の有無と概略の埋設位置を確認し、立ち合い要否の一次判定の際に活用する。 ●故障修理業務において、故障機器の設置位置や周辺道路概況の事前把握に活用する。 |
| | 電力事業者による維持管理業務 | ●配電工事における机上確認、工事関係資料の作成の際に活用する。 ●設備点検業務の外観目視確認時や、不良箇所を共有する際に活用する。 |

※太字活用場面は道路計測データを用いて検証を実施